



生産性向上支援訓練利用者の声



川口トラック協同組合 様 利用コース：『情報漏えいの原因と対策』

支援の流れ：

●課題・要望等

川口市から受託している粗大ゴミ収集業務は、組合加盟4社の社員（トラック運転手と助手）が“収集家庭の住所・氏名・電話番号等が記載されたリスト（個人情報該当）”に基づいて作業していることから、個人情報の重要性和紛失による事業の信用失墜とダメージを改めて理解（気づき）してもらいたい。置忘れ・紛失事故が発生しないよう十分留意して、戸別収集作業に努めてもらいたい。業務の都合上研修時間は、1日3時間が限度。

現場作業を行っている社員が対象なので、受講者レベルに合った分かりやすく飽きのこない内容と進行を要望された。また同業他者の取組みや事故事例等を織り交ぜ、グループ討議・発表を取り入れた参加型で気づきを感じる訓練となることを期待された。

●提案内容

粗大ゴミ収集業務をステークホルダー別・時系列の「業務フロー」に落とし込み、置忘れ、紛失の可能性を理解し共有することにより、事業主の要望の理解に努めた。

「業務フロー」を訓練の肝としてテキストに取り入れることで、収集作業に潜む置忘れ、紛失などの情報漏えいリスクに受講者が気づき、グループ討議でどのように対策すればよいかを考え、訓練終了後の収集作業に当たってもらえるようにカスタマイズ。

【事業主の声】 事業主アンケートにて高い評価をいただきました☆☆☆☆☆

【訓練を利用した経緯・動機】

川口市の粗大ゴミ収集業務に従事する組合加盟4社の社員（トラック運転手、助手）に対して短時間で分かりやすい「個人情報保護」研修を検討していたところに、ポリテクセンター埼玉からジャストタイミングで「情報漏えいの原因と対策」コース（3時間）をオーダーメイドした提案をいただいたことがきっかけでした。

【感想】

相談員さんの協力もあり、収集業務に係る人、場所、時間等を「粗大ゴミ収集業務フロー」として“見える化”しました。

このフローを講師と受講者が共有して訓練を進めたことで、受講者は情報漏えいが“どこで”“いつ”、“どのような状況（意識・行動）”により発生するのか（原因）、そして注意すべきこと、どう対策すべきかについて分かりやすく学べた訓練でした。

また受講者にとっては収集業務終了後に行う訓練のため、3時間でも長いのではと心配しましたが、今までの研修になかったグループ演習を取り入れる参加型訓練で、飽きることなく集中して受講できた訓練でした。

本訓練により気づき、意識が高まりコロナ禍で収集量が増大する中、漏えい事故が起きないように注意を払いながら日々の業務に当たってもらっています。

【今後】

加盟企業の社員数と業務の都合から研修を受けられる時間には限りがあるので、短時間でかつ業務に直結する“安全運転”“食品衛生”などの訓練コースを設定していただければ、スポットではない継続利用への道が開かれます。



川口トラック協同組合
業務輸送課長 対馬 直樹様





生産性向上支援訓練利用者の声



【受講者の声】受講者アンケート評価(満足度100%) ※受講者アンケート設問2の回答が「①大変役に立った」及び「②役に立った」と回答した方の有効回答数に対する割合です。

【業務内容】

収集対象家庭の住所・氏名・電話番号・品目・数量が記載されたリスト(個人情報に該当)に基づき1日約100件の粗大ゴミ収集を行います。コロナ禍で収集量が多くなっており、品目や個数が異なるイレギュラーなケースでは個人情報に係る対応もあるので、気を緩めることのないように業務に当たっています。



有限会社宮川運送 齊藤 忠広様

【感想】

研修を受けるのは久しぶりなので期待と不安もありましたが、訓練開始早々から「漏えい事故を起こさないための演習テーマ」を与えられ、グループで検討し代表者が発表するという、今まで受けたことのない研修内容と進行に驚くとともに、大いに刺激を受け印象に残るものでした。

収集業務フローがあったことで、情報の置忘れ・紛失等の事故がどの場所、どのようなケースで起こるのかを具体的にイメージできました。何よりこれからの行動や意識の持ち方を改めて考えることができた訓練でした。

【今後】

従事する社員の追加・交代や個人情報保護法の改正タイミングで、継続的に訓練の場を提供実施してもらうことにより、受講する社員は“資源のリサイクル・リユースに貢献している業務”に携わっている自覚と自負心が高まるものと思います。

